

「作業療法士としてのやりがい」

作業療法士の仕事というと、運動や手工芸、レクリエーションなどを思い浮かべる方が多いかも知れません。しかし私たちが大切にしているのは、活動そのものではなく、その活動を通して患者さんが自分らしい生活を取り戻していくことです。

精神科では、病気の影響によって意欲が低下したり、人との関わりが難しくなったり、自信を失ってしまう方も少なくありません。そのような患者さんに対して、一緒に活動を行いながら、その人らしさや強みを見つけ、生活の再構築を支援していくことが作業療法士の役割です。

最初は部屋から出ることも難しかった方が活動に参加出来るようになったり、人との交流が増えたり、「退院後はこんなことをしたい」と話してくださるようになったりする姿を見ると、大きなやりがいを感じます。

精神科作業療法では、患者さん一人ひとりの興味や価値観に合わせた関わりが求められます。同じ診断名でも支援の方法は異なり、正解が一つではないからこそその難しさもありますが、その分患者さんと一緒に成長を実感できる魅力があります。

また、医師、看護師、公認心理師、精神保健福祉士など他職種と連携しながら支援を行うため、幅広い視点や知識を学ぶことができます。患者さんの回復や社会参加をチームで支えることも精神科作業療法の醍醐味です。

私たちは、患者さんの「できること」や「やりたいこと」を大切にしながら支援しています。人と関わる事が好きな方、患者さんとじっくり向き合いたい方、精神科作業療法に興味のある方は、ぜひ一緒に働いてみませんか。